協議事項

コミュニティエリアの新設について

コミュニティエリア検討の経緯

- 田中地域コミュニティエリアが人口・面積とも過大であり，中学校新設を契機として，エリア分割の検討を始めている（柏の葉地域のコミュニテエリア新設）

- コミュニティエリアを設定する場合は，地域活動が深く関ってくるので，今後の人口増加を見据えると田中エリアは大きすぎる。

- 市が施策を行っていくうえで，エリアを分けることで地域特性に合った施策が展開できる。

- エリアの地区災害対策本部となる近隣センターは，田中近隣センターのため地区防災の拠点を担うには位置的，規模的に不十分。

コミュニティエリア新設の検討

概　要	町会・自治会等に率直な意見を聴取する
期　間	平成29年9月～平成30年1月(ヒアリング) 平成30年4月～平成30年5月(ヒアリング結果報告)
対　象 町　会	10町会　(役員会を対象) 既に分割している田中・柏の葉地域民生員児童員協議会のエリアを対象地域と想定

ヒアリング時のポイント	①田中地域コミュニティエリアが人口・面積とも過大であり，中学校新設を契機として，エリア分割（柏の葉地域コミュニテエリア新設）の検討を始めている。
	②分割する際の境界線も検討している。
	③分割した際は，新たに「柏の葉地域ふるさと協議会（仮）」を設置することになる。

ヒアリング対象町会

- 柏市若柴町会
- 新若柴町会
- 若柴入谷津町会
- 東十余二町会
- 柏の葉一丁目自治会
- 柏の葉二丁目町会
- 柏の葉三丁目町会
- 柏の葉キャンパス一番街町会
- 柏の葉キャンパス二番街町会
- 柏の葉キャンパスゲートタワー管理組合

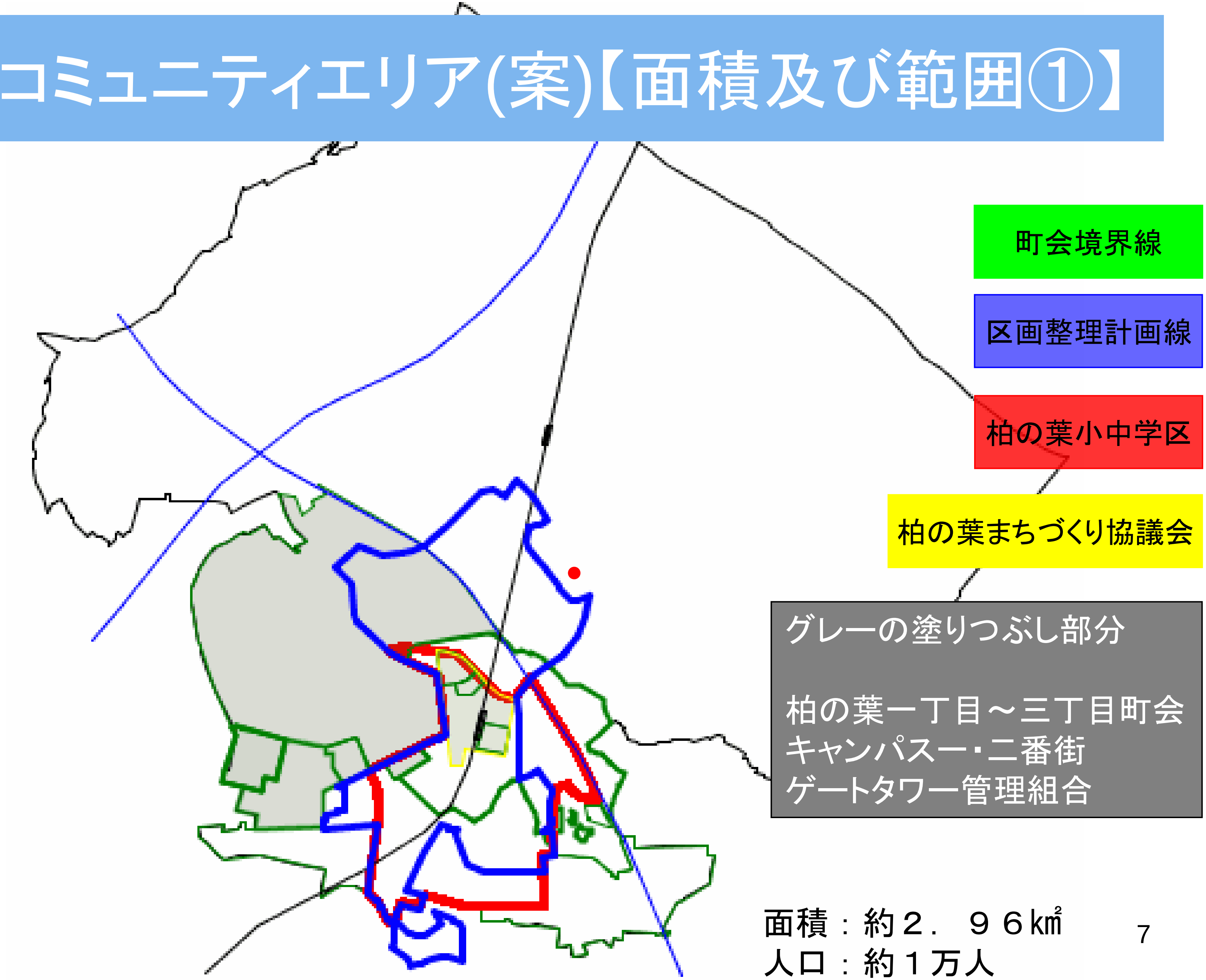
対象町会のご意見の傾向

現在田中地域で活動している町会	•田中地域と柏の葉地域は住民の思いが異なる •田中地域に愛着があり，この地域で活動を続けたい •市で判断してほしい
柏の葉地域で戸建て世帯で構成される町会	•田中地域と柏の葉地域は住民の思いが異なる •高齢化への対応のため広域的活動が必要となることが考えられる •ふる協の役員選出に不安がある •ふる協の活動がなくても困っていない（地域の課題に町会が対応できている）
柏の葉キャンパス駅周辺の集合住宅で構成される町会	•将来的に新しいコミュニティが必要になるとしたら今から考えていくべき •市で判断してほしい •近隣センター，図書館の設置を希望

ヒアリングを踏まえた市の考え

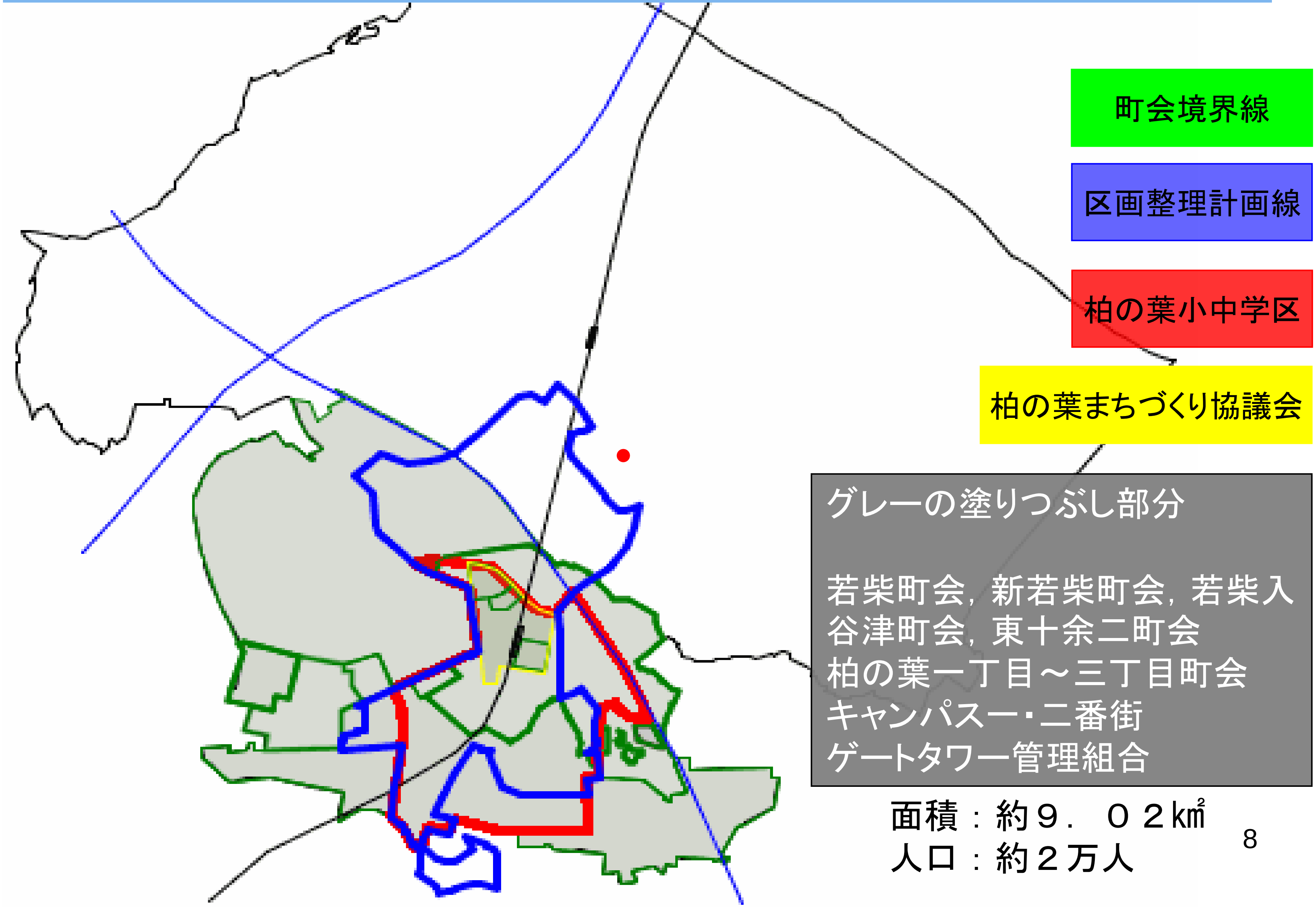
	市の考え	効果ほか
1	人口，面積ともに田中地域は大きくなっており，エリアを再検討したい。	他のエリアと人口規模が同程度となること等から地域の状況を反映した施策の展開が期待できる。 例:防災・福祉施策など
2	柏の葉6町会もふるさと協議会に所属し広域のまちづくりに参加できることが望ましい。	地域特性を踏まえ共通する課題，ニーズをまちづくりや市民生活に反映することができる。
3	エリア設定にあたっては，地域住民の意向に沿って検討するべき。	地区設定については，これまでも地域関係者と協議をし，決定してきた経緯がありこれは踏襲する。

コミュニティエリア(案)【面積及び範囲①】



面積：約２．９６㎢
人口：約１万人

コミュニティエリア(案)【面積及び範囲②】



グレーの塗りつぶし部分

若柴町会，新若柴町会，若柴入谷津町会，東十余二町会
柏の葉一丁目～三丁目町会
キャンパス一・二番街
ゲートタワー管理組合

面積：約９．０２㎢
人口：約２万人